

一般質問 (3)

今後の公共施設の適正配置計画は
大胆な発想による見直しが必要!

佐藤 公男 (公明)

公共施設の適正配置

質問 これまでの公共施設の適正配置計画は個別の見直しに終始し、コスト削減の検討が薄い。市役所本庁舎の検討とあわせ、全庁的に横串を入れる発想で大胆に見直すべき。

答弁 提案のように、横串の発想で施設機能やコストの効率化、余剰地の捻出の観点を強化する。

避難所運営について

質問 避難所開設訓練の際に、緊急初動要員も参加し、避難所運営協議会と顔合わせをしておくことが必要ではないか。

答弁 喫緊の課題として、避難所運営協議会と活動し

ていく形をつくりたい。

災害時の飲料水の確保

質問 これまでもスタンドパイプによる応急給水を提案し実現したが、災害時に複数手段による飲料水の確保が必要ではないか。

答弁 市内3浄水所に20万市民約23日分の貯水量、避難所となる小中学校の受水槽等に避難生活者約11日分の貯水量、それとスタンドパイプによる飲料水の確保がある。

自治会空白地域対策

質問 自治会空白地域対策としても、自治会に対する補助金制度を創設すべき。

答弁 現在、補助金制度を検討している。

DV、ストーカー、児童虐待
命や人権を守る総合的な対策を

石塚 真知子 (改革)

配偶者暴力(DV)対策

質問 市内の相談状況は。昨年同時期と比較して1.7倍、延べ325件。

意見 配偶者暴力には子どもが巻き込まれるケースも多くある。関係機関、庁内

あわせて連携を強化し、配偶者暴力支援センターへの機能格上げへの検討も含め、相談体制をさらに充実していくことを強く要望する。

保育園の待機児童対策

質問 平成26年度以降の新

たな対策は。
答弁 平成27年4月から西原保育園、ひばりが丘保育園、やぎさわ保育園で0歳児保育の受け入れを一時的に中止し、待機児の最も多い1歳児枠の拡大をすることで、育休を早目に切り上げる状況をなくす。育休制度の普及やワークライフバランスの観点からも効果の

ある対策と考える。
意見 雇用形態やさまざまな事情により育休制度を利用できない方も多く、0歳児保育を必要とする方が多いのも現状。広報を含めた丁寧な対応を求める。

質問 保育士不足対策は。
答弁 現在も今後も大きな課題。処遇改善に対して支援を行い、市内保育施設事

業者との情報交換を行い、都からの人材情報も求め、保育施設の開設や運営に支障を来さないよう努める。



介護保険制度の今後の動向?
結婚したら住みたいまち!

森 信一 (改革)

質問 要支援に対する訪問介護と通所介護は予防給付として継続すべきと考える。平成27年度の介護保険制度改革に向けて市は国に対して意見を上げているのか。

市長 全国市長会として国に対して介護保険制度に関

する重点提言を行い、制度改革に向けて適切な措置を講ずるよう求めている。
質問 市は介護現場で働く職員の処遇改善についてどの程度実態を把握し、改善をしようと考えているのか。
福祉部長 平成24年度の介

護報酬の改定が介護従事者の処遇の改善にどう反映されたのか保険者として把握するために、市内事業所に対し調査を実施している。
質問 市内で出産をした女性のの中には、実家がない、実家が遠い、両親が高齢、近くに頼る者がいない、夫は仕事で忙しい等、産後間もない一時期の家事サポートを必要としている方がい

る。市が現在行っている援助策について問う。
市長 保健師等の面接機会を大切に産後のサポートに取り組んでいる。また、社会福祉協議会でも産後の家事援助事業を行っている。
意見 現在の事業では充足しているとは言えない。結婚したら住みたいまち西東京市を目指して取り組んでいただきたい。

安心・安全と
健康・福祉の西東京市に!

小幡 勝己 (公明)

質問 税外収入を確保せよ。財源確保に努める。

市長 安心・安全と健康・福祉を第一の予算とせよ。

市長 ご指摘は強く認識している。努力する。

質問 西武線連続立体交差事業を強く推進せよ。

市長 東京都に対して早期事業化を要望していく。

質問 ホームドアの設置を西武鉄道に強く要望せよ。

市長 要望していく。

質問 西3・4・11号線の四次事業化と市道の整備を。

市長 東京都に対し、早期整備を要望していく。

質問 教員の事務作業量軽減、効率化で、子どもに集中できる環境を整備せよ。

市長 組織体制も含めさらに検討する。

市の情報などネット利用者だけに
有利になることはないのか?

坂井 かずひこ (改革)

質問 剪定枝・落ち葉の資源化の評価は。

答弁 地球温暖化対策、緑の保全という観点から重要だ。環境意識が高まる事業であり今後も継続していく。

質問 地域のコミュニティシユライトを設置せよ。

市長 今後研究していく。

質問 紙おむつ給付サービスは、現金と現物を併用せよ。

市長 指摘については、調査・研究する。

質問 中等度難聴児へ補聴器購入の一部助成をせよ。

市長 来年度から実施の方向で準備を進める。

質問 いじめ、虐待、高齢者虐待などを撲滅せよ。

市長 組織体制も含めさらに検討する。

質問 シルバー人材センターの就労率改善の対策は。
答弁 シルバー人材センター設立の趣旨を踏まえ、引き続き就労の場を確保していくよう伝える。

市独自の優れた施策
・喉頭がん検診の無料制度を守れ

保谷 清子 (共産)

がん検診について

質問 全てのがん検診の無料制度は、早期発見・早期治療で市民の健康を守る上で重要な施策だ。中でも、市が独自に前立腺がん・喉頭がんの検診を無料で行っていることを評価する。前立腺がん・喉頭がんの利用者負担について、なぜ保健福祉審議会に諮問をしたのか。

答弁 個人の選択で受診する任意型がん検診であり、諮問を行った。

減免制度について
質問 市民税、国民健康保険の保険料や一部負担金については、当該年度において生活が困難な状況にある

方については、条例で減免が認められている。市報やホームページを活用し制度の周知徹底を図る。
答弁 減免制度の適用は状況を確認する必要がある。市報やホームページを活用した周知にはなじまない面がある。相談を通して丁寧な対応をしていく。

石神井川・東伏見公園の整備事業について
質問 平成25年11月に用地説明



石神井川改修工事 (東伏見1丁目)

会があったが、住民からは説明が不十分、納得がいけないとの声がある。住民意見を都に伝えよ。
答弁 都に丁寧な対応を求める。市民の苦情や要望についても伝えていく。